

## 事業者における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 19日

事業所名：ブルースター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		委員研修や植樹別研修等行なっています。	今後も積極的に外部の研修に参加し、情報共有を行なえる環境を整えていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様の思いを確認しながら支援計画を作成しています。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や天候に応じてその都度工夫しながら行なっています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		送迎後、利用児さんのその日の体調確認等の情報共有を行ない、支援内容や役割分担を確認しています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	口頭や事業所メール等で報告し情報共有をするようにしています。	必ず振り返りを行なっているわけではないので、今後は利用児さんの情報共有だけでなく、振り返りも毎日行えるようにしていきます。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最低でも2回/年はモニタリングを行ない、サービスや支援内容の見直しを行なっています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			直接お会いする機会は少ないですが、病院のSWや相談員を通してやり取りをさせてもらっています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			まだ該当する利用児さんがいないため移行支援を行なったことはありませんが、支援内容や状態等の情報共有を行えるようにしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		今のところ交流はありません。	感染に注意しつつ、外部との交流ができるよう計画していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○			管理者以外のスタッフも参加できるようにしていきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時の連絡帳や送迎時、メール・電話等で状況報告は行っています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママ会を実施しました。	保護者会は必要であれば開催したいと思います。また、親子参加型の交流会は例年実施しています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に通信を発行しています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じた配慮を心掛けています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			マルシェを開き地域の方々にもご協力いただきたりして交流の機会を設けています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルはあり、スタッフに周知、発生に対応した訓練は行えています。	ご要望があれば保護者様にも事業所内で閲覧できるように所定位置に置いておきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		3事業所合同2回/年、当事業所単独での訓練は2回/年の計4回/年実施。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		経口摂取の場合、母親に確認後摂取しています。	自宅で食べたことのないものについては、基本当事業所でも摂取はしませんが、必要であれば保護者様に依頼し、医師の指示書をいただけるようお願いする場合があります。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 ブルースター

保護者頭数（児童数9名 回収数7名 割合78 %）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1				配置数に関しては定められた基準にて配置しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7					
適切 な 支 援 の 提 供 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	7				子どものことをよく見てくださっていて、何が本人に良いのかをじっくり考慮してくれたうえで計画してくれています。	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	2	機械があるのか知らない。	感染の関係で交流する機会は設けていませんでしたが、ハロウィンイベントにて社会福祉法人の保育園の園児さんと交流する機会がありました。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7					
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1			イベントの時にお話をする機会があり情報交換ができました。	父母の会、保護者の会は希望があれば開催する予定です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1				ご家族の方とは送迎時や連絡帳、メールでのやり取りにて情報伝達は行えています。子どもたちには表情や体動、モニターの数値等にて好き・苦手を観察しています。また、何かをする前は必ず声掛けを行なっています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1				活動や、行事を行なう際は予定表やSNSにて報告しています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	6	1				SNSに掲載する場合は顔出しのお子さんにはモザイク等で隠しています。また、他福祉サービスや事業所間の情報共有をしたときはご家族に了承を得られ様としています。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	2			マニュアル等あるのなら冊子にしていきたい。	マニュアルはあり、スタッフに周知、発生に対応した訓練は行えています。ご要望があれば保護者様にも事業所内で閲覧できるよう所定位置に置いておきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1			訓練をしているのかわからない。	3事業所合同2回/年、当事業所単での訓練は2回/年の計4回/年実施しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	7				私たち家族にとって大切な場所です。これからもよろしく願います。	ありがとうございます。こちらこそよろしく願っています。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。